

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.574

2022年 6月 10日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

業務委員会を開催

総支部総対話で寄せられた意見に基づき議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

J R東海ユニオンは、「総支部総対話で寄せられた意見」についての申入れに基づき業務委員会を開催し、会社と議論を展開した。

今回の業務委員会では、本社、名古屋セントラル病院、健康管理センター等におけるこの間の継続課題を始め、職場の実態に即した改善要望等について、東京総支部、名古屋総支部、病院総支部の各執行委員長に参加いただき、深度化した専門的な議論を展開した。

なお、議論経過において「国内赴任における旅行雑費限度額の見直し（限度額を 5,000 円とする）」「運輸・機械・電気系統社員の中央新幹線工事事務所用地業務への配属」「一部 L 4・L 5 等級社員の M 1・M 2 等級での運用」などが明らかとなった。

J R東海ユニオンは、総支部に所属する組合員から寄せられた各種課題の改善に向け、引き続き広範囲な議論を展開していくとともに、組合員が安心して働くことができるよう、会社に働きかけていく。

【主な議論内容】（☐部分は、現時点において前進を確認した事項）

○東京・名古屋総支部関連

業務繁忙の解消（総実労働時間の縮減、用地取得体制の強化）、在宅勤務、人事考課、別居手当・帰省交通費の改善、山間地等における通勤手段、異動事前通知の早期化、技術開発部における社員管理業務、OA環境の整備（CAD、インターネット端末）、職場環境改善（会議室不足、EV 混雑）、旅行雑費改善、電子マネーチャージ機設置、BeatFit 改善、野球部後援会活動 など

運輸・機械・電気系統社員を新たに配属

一部 L4・L5 等級社員の M1・M2 等級での運用

○病院総支部関連

病院における要員不足、医療職社員の賃金見直し、看護職員の処遇改善、Wi-Fi 整備、教育体制の充実、健康診断（労働時間化、会場拠点化、健診会場の環境改善）、箱根八里踏破時の救護対応、地区管理手当、コロナ対応（ワクチン接種、慰労金） など

国内赴任における旅行雑費の限度額を 5,000 円に見直し

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。